

# 石川県の希少種対策について

石川県生活環境部自然環境課  
日時：令和4年11月8日（火）

# 目次

---

- ① 種の保存法
- ② ふるさと環境条例
- ③ いしかわレッドデータブック

# ① 種の保存法

① 種の保存法

# 石川県内の国内希少野生動植物種



イヌワシ (タカ科)

白山山系を中心に生息。翼開長は2mに達する。石川県の県鳥。



クマタカ (タカ科)

医王山以南の山地帯を中心に、県内の推定生息数は100羽程度。



チュウヒ (タカ科) ※ ハヤブサ (ハヤブサ科)

河北潟などのヨシ原に営巣し、ネズミ類等を餌とする。県内の成熟個体数は数十羽。加賀と能登の海岸部の断崖などで繁殖。繁殖場所は限られている。



ホテイアツモリ

(ラン科)

白山の亜高山帯に、極めて稀に見られる多年生植物。採集圧も危惧される。



ヘラシギ (シギ科)

秋の渡りの時期に、金沢から羽咋市までの砂浜海岸で散発的に1、2羽が渡来するのみ。世界的にも数が少ない。



アベサンショウウオ (サンショウウオ科)

平成17年に小松市、能美市で生息を確認。県内に生息する個体は非常に少ない。



シャープゲンゴロウモドキ (ゲンゴロウ科) ※

金沢以北の水質の良い池沼や休耕田に生息。採集圧や外来種の侵入により減少。



マルコガタノゲンゴロウ (ゲンゴロウ科) ※

能登半島の植生の豊かなため池などに生息。採集圧や外来種の侵入により減少。

他に、コウノトリ、トキ、オジロワシ、オオワシ、ライチョウ、アカモズ、ヤイロチョウなども可能性あり

## ② ふるさと環境条例

# ふるさとと環境条例

## ふるさとと石川の環境を守り育てる条例

平成16年4月1日 施行、令和4年10月1日 改正

### (1) 地球温暖化対策関連 (2) 生物多様性関連

県、市町、県民及び関係団体等が、地球温暖化対策およびトキなど希少野生動植物が生息等できる自然環境の再生、保全等取り組みを推進すること

## 石川県指定希少野生動植物種

### **捕獲や採取などは原則として禁止。**

※罰則：1年以下の懲役又は50万円以下の罰金

動物9種、植物12種が指定されている。令和4年5月1日

国内希少野生動植物種と一部重複。

→チュウヒ、シャープゲンゴロウモドキ、マルコガタノゲンゴロウ

石川県の希少種を保護

# 県指定種 <動物>



コアジサシ (カモメ科)  
4月中旬に日本に飛来する夏鳥。  
繁殖地は、県内で数か所に限られる。  
確認分布：能美市、白山市



トミヨ (トゲウオ科)  
手取川扇状地と志賀町の、湧き水が流れ込む河川にのみ生息。  
確認分布：能美市、白山市、志賀町



ホトケドジョウ (ドジョウ科)  
流れの緩やかな小川やため池、湿地などに生息。  
確認分布：宝達志水町、かほく市、能美市、小松市、加賀市

チュウヒ (タカ科) ※  
確認分布：七尾市、かほく市、津幡町、内灘町、金沢市、加賀市

シャープゲンゴロウモドキ (ゲンゴロウ科) ※  
確認分布：金沢市以北に局在

マルコガタノゲンゴロウ (ゲンゴロウ科) ※  
確認分布：珠洲市

※先に県の指定希少野生動植物種に指定され、その後、シャープゲンゴロウモドキとマルコガタノゲンゴロウは平成23年4月に、チュウヒは平成29年9月に新たに国内希少野生動植物種にも指定された。



イカリモンハンミョウ (ハンミョウ科)  
羽咋市から志賀町までのまでの砂浜海岸にのみ生息。  
確認分布：志賀町、羽咋市



イソコモリグモ (コモリグモ科)  
砂浜の海浜植物帯が主な生息地。砂浜海岸の減少や環境悪化により、減少。  
確認分布：輪島市、かほく市、内灘町、加賀市



ホクリクサンショウウオ (サンショウウオ科)  
里山の荒廃等により、個体群の縮小が危惧される。  
確認分布：かほく市以北

# 県指定種 <植物①>



ウミミドリ (サクラソウ科)  
能登地方外浦の岩石海岸の塩  
性湿地にわずかに生育。  
確認分布：志賀町



オキナグサ (キンポウゲ科)  
加賀地域の河岸の極めて限ら  
れた場所に生育。  
確認分布：白山市



エチゼンダイモンジソウ  
(ユキノシタ科)  
加賀地域山間地の谷あいの湿っ  
た岩場などに生育。  
確認分布：加賀市



サドクルマユリ (ユリ科)  
能登半島に分布。現在確認され  
ている生育数は、極めて限られ  
ている。  
確認分布：珠洲市



トキソウ (ラン科)  
日当たりのよい湿地に生育。湿  
地環境の消失や採集圧により減  
少。  
確認分布：県内に局在



サギソウ (ラン科)  
丘陵地の湿地等に生育。湿地環  
境の消失や採集圧により減少。  
確認分布：県内に局在



イソスミレ (スミレ科)  
海岸砂丘等に生育。県内の生育  
地は3か所。  
確認分布：輪島市、内灘町、  
加賀市



センダイハギ (マメ科)  
能登半島の一部海岸部の極め  
て限られた場所に生育。生育  
環境の改変・悪化が危惧され  
る。  
確認分布：輪島市、志賀町

# 県指定種 <植物②>



ヒメヒゴタイ (キク科)

能登半島の一部海岸部に生育。生育環境の改変・悪化が危惧される。

確認分布：志賀町



トウカイコモウセンゴケ  
(モウセンゴケ科)

生育地は加賀地域に限られ、生育地の改変や採集圧が危惧される。

確認分布：小松市、加賀市



イシモチソウ  
(モウセンゴケ科)

現存数は極めて限られ、採集圧も危惧される。

確認分布：志賀町、羽咋市、加賀市



カザグルマ (キンポウゲ科)

加賀地方の極めて限られた地域にわずかに生育が確認され、採集圧も危惧される。

確認分布：金沢市、能美市、加賀市

令和4年5月1日 施行

指定種の捕獲や採取等に関係すること  
⇒ 県自然環境課まで連絡

# 保全の取組ーモニタリングの実施ー

現状把握のため「**石川県希少種保全推進員**」によるモニタリングを実施



県の指定希少野生動植物種の生息・生育状況を把握。  
平成22年から開始。現在15名を委嘱。

# 保全の取組—保護増殖事業—

県指定種の中から緊急を要する種について、  
**保護増殖事業（生息地等保全と域外保全）**に着手（平成22年～）



**オキナグサ**

開花個体数：約60個体



**イカリモンハンミョウ**

確認個体数：約5千～1万個体

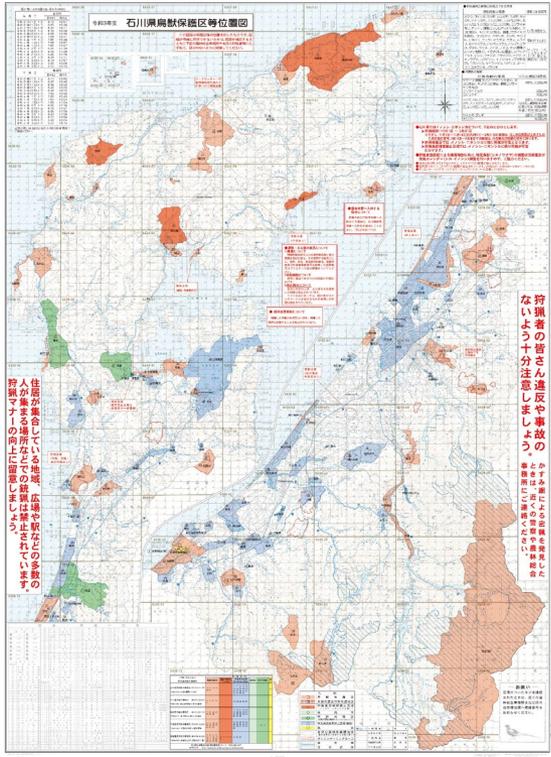


**サドクルマユリ**

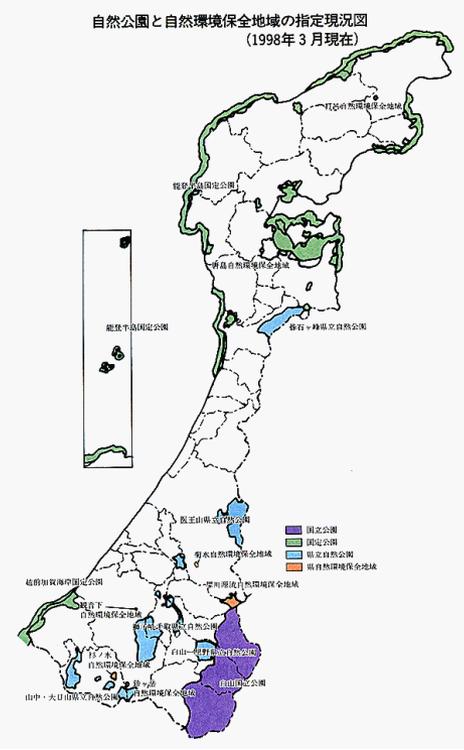
開花個体数：約40個体

- ・ 個体数が少なく、生息地域が局所的
- ・ 生息・生育地の環境悪化、盗掘問題
- ・ 専門家：「いつ絶滅してもおかしくない」
- ・ 生息域内保全と域外保全
- ・ 石川県立大学、岐阜大学と連携
- ・ 地域と連携
- ・ 市町と連携・協力（白山市、羽咋市、志賀町、珠洲市、輪島市）

② 各関係法令・条例など  
**環境影響評価—開発行為等の法令区域確認—**



鳥獣保護区



(国・県) 自然公園区域  
 および 自然環境保全地域



(国・県) 指定希少  
 野生動植物種生息地等

(鳥獣保護管理法、自然公園法、自然環境保全法、ふるさと石川環境条例)

各法令・条例に基づき、開発行為等へ意見

### ③ いしかわレッドデータブック

# レッドデータブック

## 国レッドデータブック (RDB)

絶滅のおそれのある野生生物をカテゴリー分けしてとりまとめたもの。1991年に日本のRDB初版を発行。法的効果は伴わないが、社会への警鐘、環境アセスメント等の基礎資料として活用。

## 石川県版RDB (いしかわRDB)

カテゴリー、種の説明、写真、県内分布図など。

初版：2000年

2版：2009年、2010年

**3版：2020年** ※県HPで公開



# RDBのカテゴリー

## 区分及び基本概念

- 「絶滅 (EX) 」

石川県ではすでに絶滅したと考えられる種。

- 「野生絶滅 (EW) 」

飼育・栽培下でのみ存続している種。

**「絶滅危惧」 = 絶滅のおそれのある種**

- 「絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) 」

絶滅の危機に瀕している種。

- 「絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 」

絶滅の危機が増大している種。

- 「準絶滅危惧 (NT) 」

現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する危険性のある種。

- 「情報不足 (DD) 」

評価するだけの情報が不足している種。

- 付属資料「地域個体群 (LP) 」

地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群。

**カテゴリーの判定には、定性的要件、定量的要件といった判定基準がある**

# いしかわRDB2020の概要

## 概要

掲載種数は1,194種、前版から195種増

→調査の積み重ねにより生息状況の把握が進展

→生息環境の変化

いしかわレッドデータブック2020掲載種数

※ ( ) は第2版からの増減

分類	絶滅	野生絶滅	絶滅危惧		小計	準絶滅危惧	情報不足	合計
			絶滅危惧I類	絶滅危惧II類				
植物	10 ( 0)		259 (57)	202 (-20)	461 (37)	176 ( 7)	73 (29)	720 (73)
動物	5 (-1)		90 (19)	118 (42)	208 (61)	200 (53)	61 ( 9)	474 (122)
哺乳類	2 ( 0)		7 ( 3)	7 (-1)	14 ( 2)	8 ( 0)		24 ( 2)
鳥類	1 (-1)		16 ( 0)	20 ( 3)	36 ( 3)	29 ( 4)	5 ( 0)	71 ( 6)
両生爬虫類			2 ( 0)	1 ( 0)	3 ( 0)	4 ( 1)		7 ( 1)
淡水魚類			2 ( 0)	6 ( 3)	8 ( 3)	5 ( 1)	1 ( 1)	14 ( 5)
昆虫類	2 ( 0)		56 (16)	67 (32)	123 (48)	108 (42)	29 ( 5)	262 (95)
浅海域の生物				2 ( 0)	2 ( 0)	9 ( 2)	7 (-7)	18 (-5)
貝類			6 ( 0)	14 ( 5)	20 ( 5)	32 ( 1)	15 ( 6)	67 (12)
その他の動物			1 ( 0)	1 ( 0)	2 ( 0)	5 ( 2)	4 ( 4)	11 ( 6)
合計	15 (-1)	0 (0)	349 (76)	320 (22)	669 (98)	376 (60)	134 (38)	1,194 (195)

# これからの希少種保護について



平成22年以降

3個体、11市町への  
飛来を確認（GPS情報含む）

県内のどこでも  
飛来する可能性がある

令和4年8月

能登地域がトキの  
放鳥候補地に選定

令和4年10月

ふるさと環境条例の  
一部が改正

トキを象徴として、自然環境の保全等を推進

# 参考図書・Website

---

## 図書・文献

- ・石川県立大学自然まるかじり編集委員会（2016）  
『石川の自然まるかじり』東海大学出版
- ・環境省（2014）『レッドデータブック2014 – 日本の絶滅のおそれのある野生生物 – 各シリーズ』ぎょうせい
- ・Mora et al. (2011) How many species are there on Earth and in the ocean ?  
PLOS Biology DOI: 10.1371/journal.pbio.1001127

## Website

- ・環境省生物多様性センター： <http://www.biodic.go.jp>